

科目名 (科目番号)	基礎看護技術Ⅲ (A:074122/B074125)	教員名 吉田, 山崎, 田所	学科等	看護	必修	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
			オフィスアワー		各教員研究室		
授業概要	<p>フィジカルアセスメントとは、看護の対象者から得られた主観的情報と、看護師自身が行ったフィジカルイグザミネーション(視診、触診、聴診、打診)から得られた情報を総合して、身体の状態を判断する技術である。人体の構造と機能、病態治療論など専門基礎科目で学習した知識をもとに、身体の状態を系統的に観察・判断できる技術を習得する。</p> <p>関係する垂直軸:看護, コミュニケーション, 健康の状態</p>						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	フィジカルアセスメントとは	到達目標:フィジカルアセスメントとは何か、看護における意義、内容を理解できる。 学習内容:フィジカルイグザミネーションについて基本的な方法とポイントを学習する。				
	2	問診と一般状態のアセスメント	到達目標:一般状態のアセスメントの意義を理解し、技術を習得できる。 学習内容:一般状態のアセスメントについて正常所見および主な異常所見を把握し、診察技術の実際を系統的に学習する。				
	3	[演習] 皮膚・頭頸部のアセスメント	到達目標:皮膚・頭頸部のアセスメントの意義を理解し、技術を習得できる。 学習内容:皮膚・頭頸部のアセスメントについて正常所見および主な異常所見を把握し、診察技術の実際を系統的に学習する。				
	4	[演習] 呼吸器系のアセスメント	到達目標:胸部・肺のフィジカルアセスメントの意義を理解し、技術を習得できる。 学習内容:胸部・肺のフィジカルアセスメントについて、正常所見および主な異常所見を把握し、診察技術の実際を系統的に学習する。				
	5	[演習] 呼吸器系のアセスメント					
	6	[演習] 循環器系のアセスメント	到達目標:心臓・循環器系のフィジカルアセスメントの意義を理解し、技術を習得できる。 学習内容:心臓・循環器系のフィジカルアセスメントについて正常所見および主な異常所見を把握し、診察技術の実際を系統的に学習する。				
	7	[演習] 循環器系のアセスメント					
	8	[演習] 脳・神経系のアセスメント	到達目標:脳・神経系のフィジカルアセスメントの意義を理解し、技術を習得できる。 学習内容:脳・神経系のフィジカルアセスメントについて正常所見および主な異常所見を把握し、診察技術の実際を系統的に学習する。				
	9	[演習] 脳・神経系のアセスメント					
	10	[演習] 腹部・消化器系のアセスメント	到達目標:腹部・消化器系におけるフィジカルアセスメントの意義を理解し、技術を習得できる。 学習内容:腹部・消化器系のフィジカルアセスメントについて正常所見および主な異常所見を把握し、診察技術の実際を系統的に学習する。				
	11	[演習] 腹部・消化器系のアセスメント					
	12	[演習] 筋・骨格系のアセスメント	到達目標:筋・骨格系におけるフィジカルアセスメントの意義を理解し、技術を習得できる。 学習内容:関節可動域の測定、徒手筋力検査について正常所見および主な異常所見を把握し、診察技術の実際を系統的に学習する。				
	13	[演習] 筋・骨格系のアセスメント					
	14	技術確認3 (バイタルサイン・フィジカル)	到達目標:バイタルサイン測定およびフィジカルアセスメントの技術を習得できる。 学習内容:バイタルサイン測定およびフィジカルアセスメントの技術について確認する。				
15	技術確認3 (バイタルサイン・フィジカル)						
成績評価の方法・基準	①筆記試験50% ②技術試験30% ③課題・レポート20% (①, ②はそれぞれ60%以上に達していること)						
教科書	はじめてのフィジカルアセスメント	横山美樹	メヂカルフレンド社				
参考図書	フィジカルアセスメントがみえる	医療情報科学研究所(編)	メディックメディア				
教員からのメッセージ	私たちの五感を最大限に活用して情報を収集し、身体の状態を観察する科目です。根拠を考えながら繰り返し自己学習を行って技術を磨き、看護実践力を身に付けていきましょう。授業に際し、課題(レポート)を提出してもらいます。レポートはコメントを付して返却します。						